

県議会2月定例会は24日、本会議を再開し、作野広昭(自民)、盛本芳久(未来石川)の両氏が代表質問する。両氏は間もなく就任1年を迎える

馳浩知事の県政に対する姿勢、10~11月に31年ぶりに県内で開催される国民文化祭(いしかわ百万石文化祭2023)への対応などを取り上げる。

県議会あす代表質問

町の3人は五十音順に、町議の河田信彰氏(50)、6期会社役員の酒元美江氏(53)、会社役員の酒元美江氏(53)は17日に町議に立候補を表明し、堂前氏は周囲の推す声を受け18日に立候補の決意を固めた。

22日は町議会で非公開の議員懇談会が開かれ、非自民を含む全町議14人が協議した。終了後に取材に応じた金七祐太郎議長による

河田、堂前両氏からは出馬したいとの発言があり、酒元氏は母の法子町議を通じて立候補したいと考え、結論は出なかった。

河田氏は3人の中で唯一

議長経験者で、町内最多

の人口を抱える宇出津を地盤とする。酒元氏は日本青

年会議所石川ブロック協議

会長を務めた経験があり、

馳知事とのパイプをアピ

ルする。今任期限りで引退する自民現職の山口彦衛氏

地震被害想定の周知を

未来石川・盛本氏



未来石川・盛本氏

の知事選から掲げてきた

「幸福度日本一」という言葉に込めた思いを問う。大

きな地震の発生が懸念され

る。

盛本氏は、馳知事が昨年

定を県民に対して分かりや

くとともに、中学校にも拡

大するよう求める。

作野氏は、北陸新幹線敦賀以西について、早期に完成し、コストが圧縮できるとされる米原ルートや湖西路についての考え方をた

だす。策定中の県成長戦略にかけた

黒字が続く金沢競馬のさらなる売り上げ増加に向けた

取り組みを聞く。

加賀地方の平野部は複数

の名称が使われていると

い。広く親しまれている「加賀平野」に名称をそろえる

よう提案する。

た価格交渉や価格転嫁が円滑に進むようメッセージ發出を提案するほか、物価高等で生活が困窮する家庭への支援について県の施策を確認する。

小学校全学年で実現する

「35人学級」への思いを聞

くとともに、中学校にも拡

大するよう求める。

河田氏は3人の中で唯一

議長経験者で、町内最多

の人口を抱える宇出津を地盤とする。酒元氏は日本青

年会議所石川ブロック協議

会長を務めた経験があり、

馳知事とのパイプをアピ

ルする。今任期限りで引退する自民現職の山口彦衛氏

河田、堂前両氏からは出馬したいとの発言があり、酒元氏は母の法子町議を通じて立候補したいと考え、結論は出なかった。

河田氏は3人の中で唯一

議長経験者で、町内最多

の人口を抱える宇出津を地盤とする。酒元氏は日本青

年会議所石川ブロック協議

会長を務めた絏験があり、

馳知事とのパイプをアピ

ルする。今任期限りで引退する自民現職の